

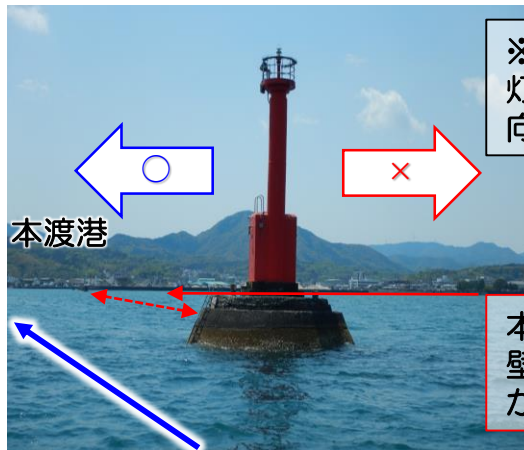
# 令和2年に引き続き、今年も本渡瀬戸北側で乗揚海難発生！ ～再度海図と自船船位の確認を！～

島原湾側から本渡港に入港しようとする小型船舶が防砂堤に乗揚げる（底触する）事故が続いています。事故原因は、海図や自船の現在位置を確認していない等、航海者としての基本を怠ったことによるものです。航海に際しては、事前の水路調査はもとより、航海中も海図と自船の船位を常時確認しましょう。

## 島原湾からの本渡入港参考図

①本渡港防砂堤灯台  
単閃赤光 4秒に1閃光

島原湾側から本渡港防砂堤灯台（赤）に向かって（本渡瀬戸側を見る）、左（南方）が可航水域となるが防砂堤直近は浅い！また対岸にも広い浅所があり自船位置と針路の確認が必要！



※島原湾側から本渡港防砂堤灯台（本渡瀬戸側を見る）に向かって右（北方）は浅い！

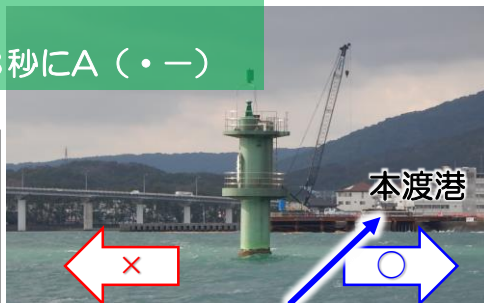
本渡港防砂堤灯台と本渡港岸壁の間には、水面下に防砂堤があり航行出来ない！

海図W1252「本渡港」抜粋  
本図により航海しないこと。



②本渡港灯標  
モールス符号緑光 毎8秒にA（・ー）

※島原湾側から本渡港灯標（本渡瀬戸側を見る）に向かって左（南方）は浅い！

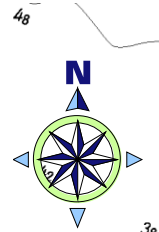


島原湾側から本渡港灯標に向かって（本渡瀬戸側を見る）右（北方）が可航水域。ただし東側手前から浅所が広がっており自船位置と針路の確認が必要！また北側対岸の防砂堤との位置関係にも注意！



# 本渡瀬戸に設置されている橋の高さにも注意！

海図W1252「本渡港」抜粋  
本図により航海しないこと。



防砂堤(水面下にも存在)

本渡港防砂堤灯台

本渡港灯標



**天草瀬戸大橋**  
【全長】  
702.5メートル  
【長さ】  
満潮面より17メートル

**昇開橋（本渡瀬戸歩道橋）**  
【全長】  
124.8メートル  
（昇降部分 58メートル）  
【高さ】  
満潮面より3.3メートル  
【昇開時の高さ】  
2段階昇開する  
1段階目：10.2メートル  
2段階目：17メートル  
\* 通航船舶の大きさや潮汐で昇開時の高さを調整  
【昇降時間】  
（4月～9月）  
午前6時から午後8時30分まで  
（10月～3月）  
午前6時30分から午後8時まで  
\* 昇降時間外や定期点検期間中、視界不良時、荒天時（風速15m/s以上）等は2段階目（17m）まで昇開される。

天草下島  
Kamohachiji-Kanegawa

天草上島

仲の浦